

令和5年4月12日公表

作物統計調査 令和4年産かきの結果樹面積、収穫量及び出荷量 (和歌山県、奈良県)

－ 収穫量は和歌山県が前年産に比べ6%、奈良県が同4%それぞれ増加 －

【調査結果の概要】

1 結果樹面積

結果樹面積は、和歌山県が2,470ha、奈良県が1,780haで、前年産に比べ和歌山県が10ha減少し、奈良県は前年産並みとなった。

2 収穫量及び出荷量

収穫量は、和歌山県が4万2,000t、奈良県が2万9,500tで、前年産に比べそれぞれ2,300t(6%)、1,200t(4%)増加した。

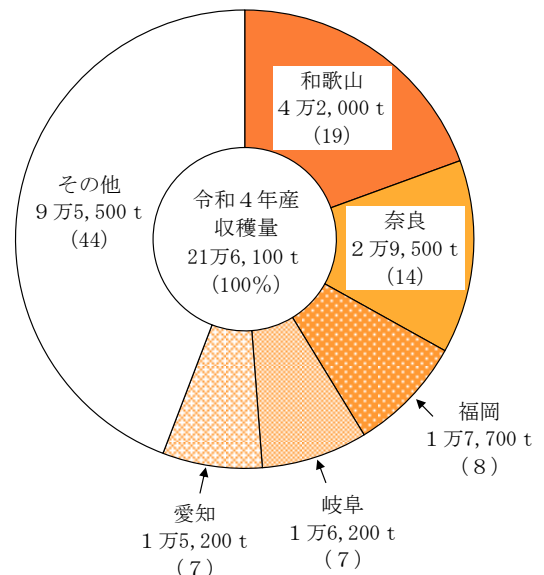
出荷量は、和歌山県が3万7,900t、奈良県が2万7,400tで、前年産に比べそれぞれ2,000t(6%)、1,100t(4%)増加した。

なお、収穫量の全国順位は、和歌山県が1位、奈良県が2位となっており、この2県で全国の33%を占めている。

表 かきの結果樹面積、収穫量及び出荷量

区分	単位	令和4年産	前年産との比較	
			対差	増減率
%				
和歌山				
結果樹面積	ha	2,470	△10	0
収穫量	t	42,000	2,300	6
出荷量	t	37,900	2,000	6
奈良				
結果樹面積	ha	1,780	0	0
収穫量	t	29,500	1,200	4
出荷量	t	27,400	1,100	4

図1 かきの都道府県別収穫量



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

○ 結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が当該年産の果実を収穫するために結実させた面積をいう。

◎ 累年データ

かきの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量の推移

1 和歌山県

2 奈良県

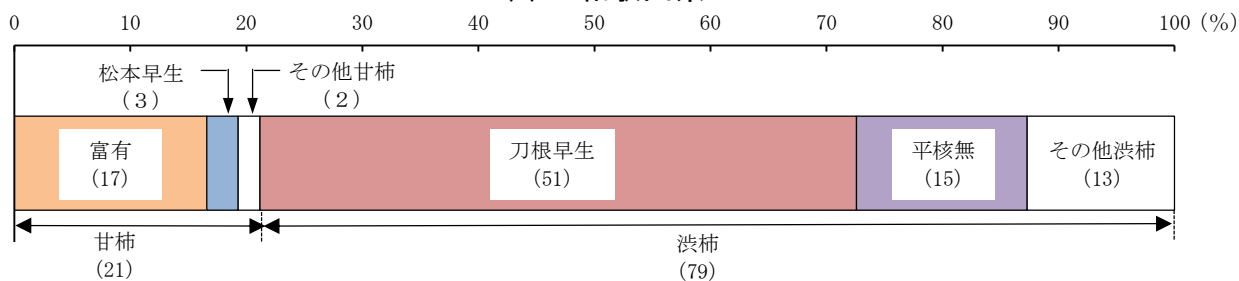
区分	1 和歌山県				2 奈良県			
	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	ha	kg	t	t
平成24年産	2,780	1,940	53,900	48,200	1,860	1,620	30,100	27,900
25	2,740	1,760	48,200	43,400	1,860	1,530	28,500	26,800
26	2,700	1,740	47,000	42,600	1,840	1,770	32,600	30,500
27	2,660	1,900	50,500	45,100	1,820	1,680	30,600	28,500
28	2,600	1,790	46,500	42,000	1,810	1,890	34,200	31,600
29	2,540	1,870	47,500	42,800	1,810	1,810	32,800	30,800
30	2,530	1,550	39,200	35,300	1,800	1,570	28,300	26,300
令和元	2,510	1,730	43,400	39,200	1,790	1,750	31,300	29,100
2	2,500	1,620	40,500	36,600	1,790	1,550	27,700	25,800
3	2,480	1,600	39,700	35,900	1,780	1,590	28,300	26,300
4 (概数)	2,470	1,700	42,000	37,900	1,780	1,660	29,500	27,400

資料：農林水産省統計部『果樹生産出荷統計』

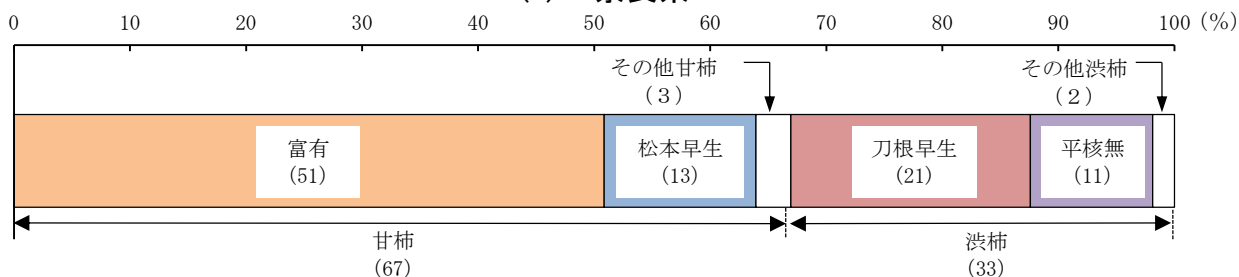
◎ 関連データ

1 令和2年産かきの品種別栽培面積割合

(1) 和歌山県



(2) 奈良県

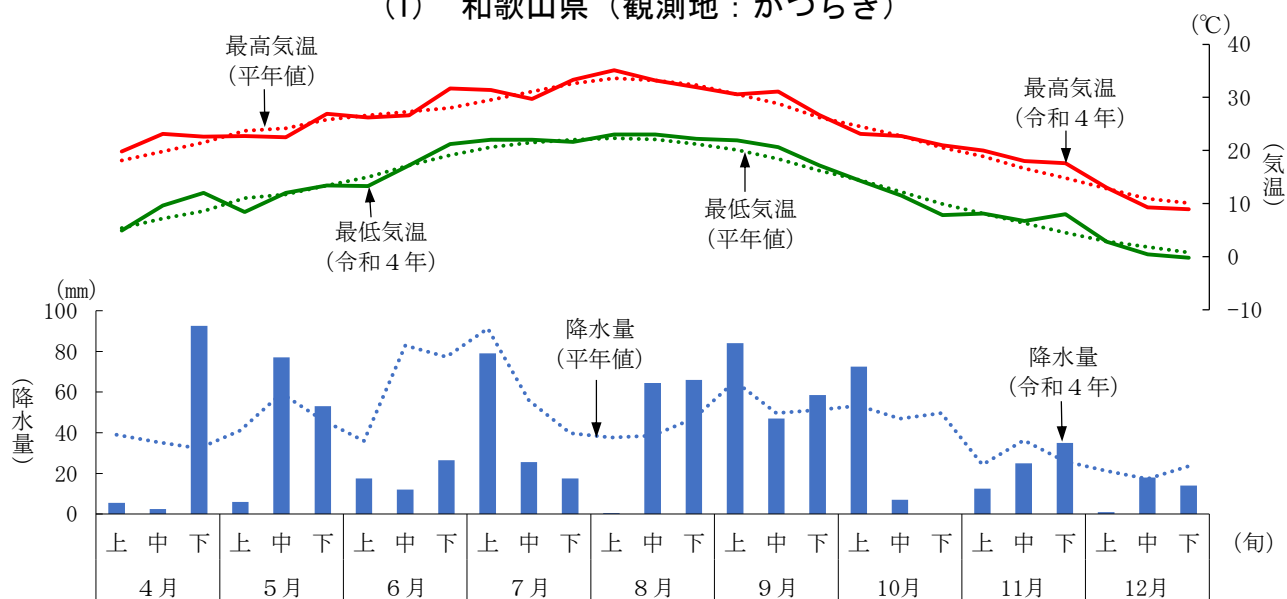


資料：農林水産省農産局『令和2年産特産果樹生産動態等調査』

注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

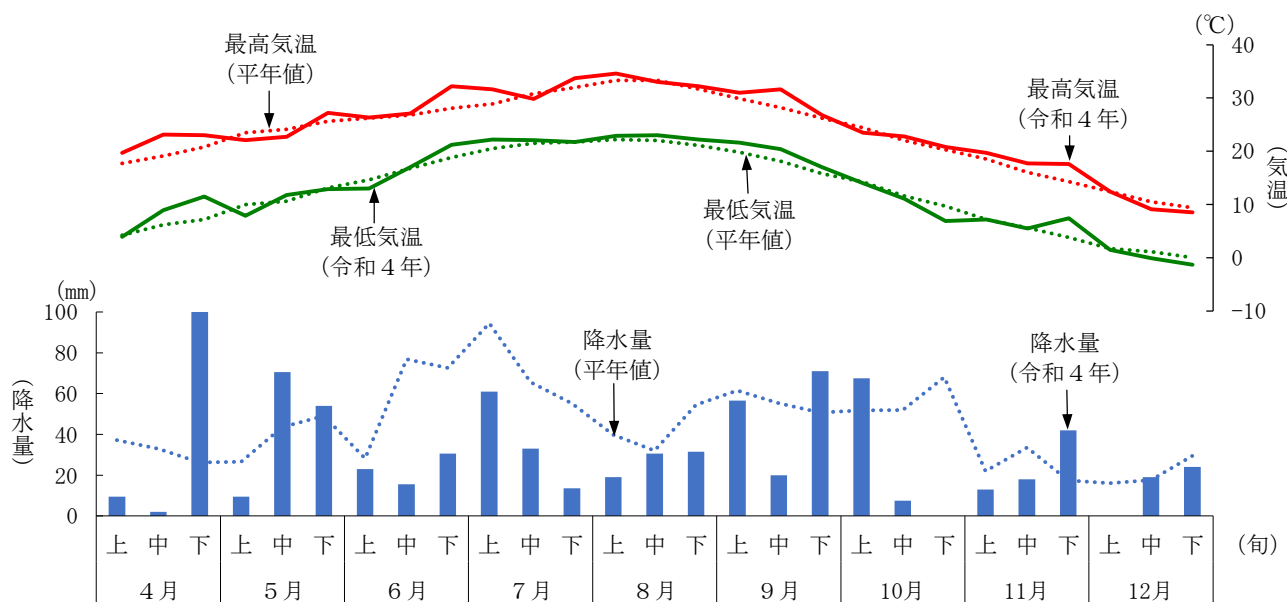
2 旬別気象（令和4年4月～12月）

(1) 和歌山県（観測地：かつらぎ）

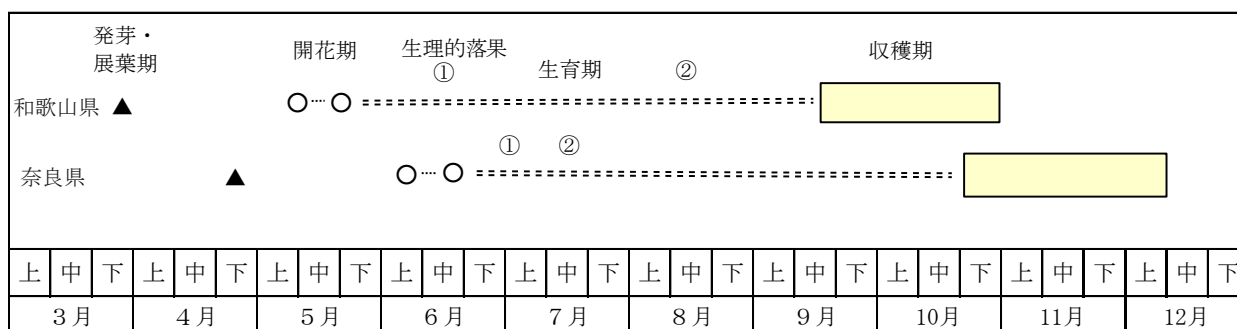


資料：気象庁「アメダスデータ」（以下、2(2)まで同じ。）

(2) 奈良県（観測地：五條）



3 かきの生育ステージ（和歌山県・奈良県）



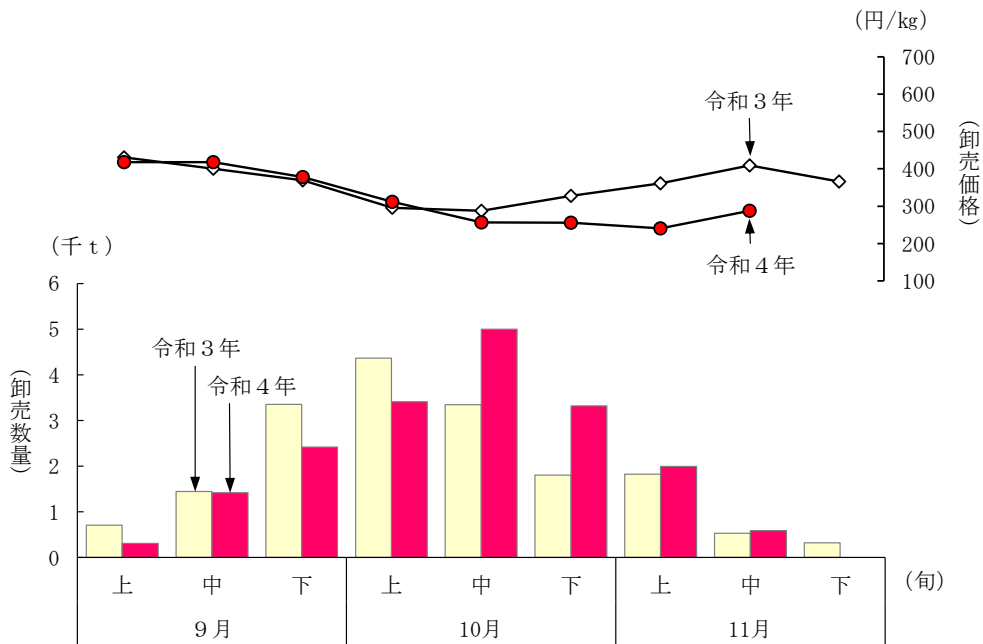
資料：農林水産省統計部『果樹生育ステージ総覧』

注：1 和歌山県は（刀根早生）、奈良県は（富有）の露地栽培を転記した。

2 ①②は生理的落果期で、①は一次落果、②は二次落果時期である。

4 かきの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場計・産地別）

(1) 和歌山県

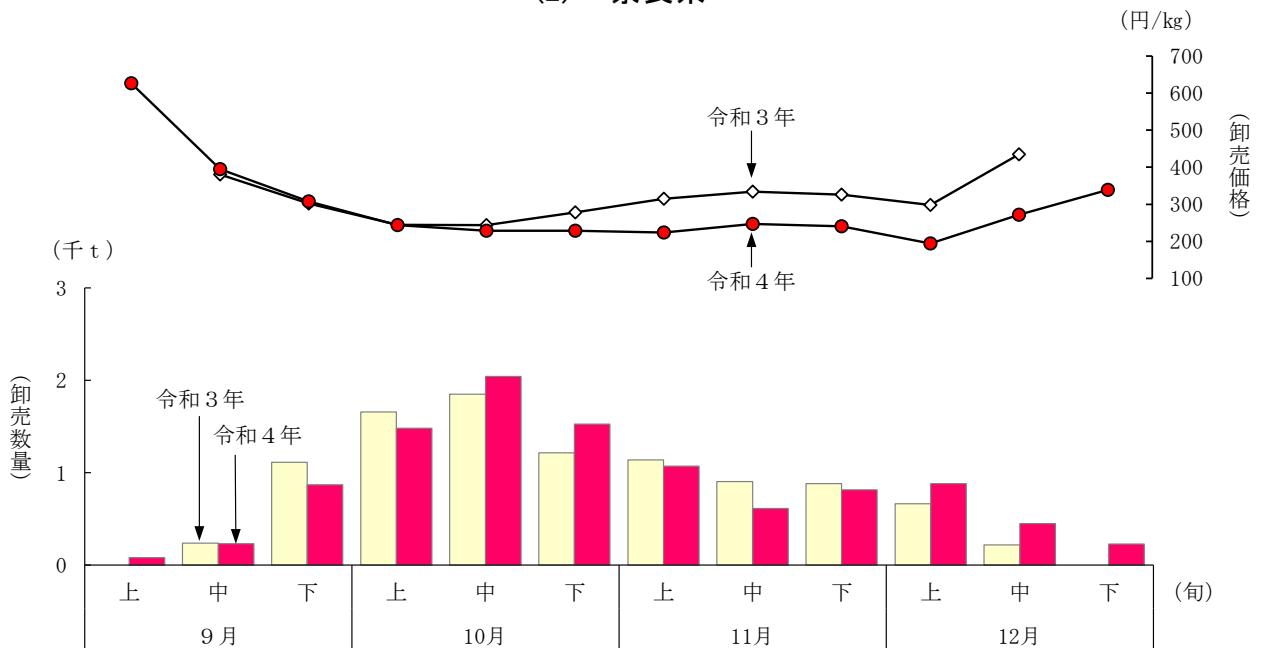


資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査」（以下、4(2)まで同じ。）

注：1 全国の主要都市に所在する主要な中央卸売市場の日別値を積み上げて算出したものである（以下、4(2)まで同じ。）。

2 令和4年11月下旬については、主要卸売市場の取扱数量の多い順に80%を占めるまでの産地に含まれていないため公表していない。

(2) 奈良県



注：令和3年9月上旬及び12月下旬については、主要卸売市場の取扱数量の多い順に80%を占めるまでの産地に含まれていないため公表していない。

【調査結果】

1 和歌山県

(1) 結果樹面積

結果樹面積は2,470haで、前年産に比べ10ha減少した。

(2) 10 a 当たり収量

10 a 当たり収量は1,700kgで、前年産に比べ100kg（6%）上回った。

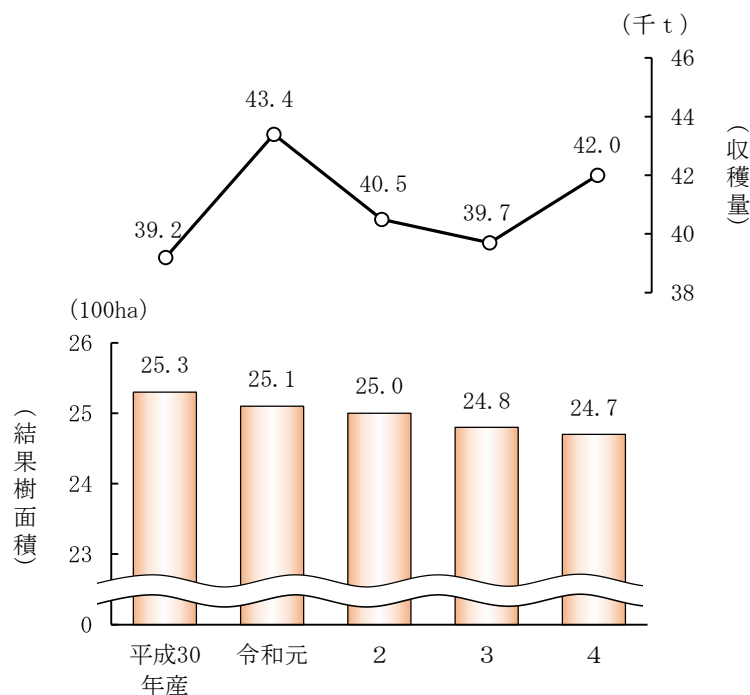
これは、果実の肥大は前年産に比べ小玉傾向であったものの、結果数が多くなったこと等による。

(3) 収穫量・出荷量

収穫量は4万2,000 t、出荷量は3万7,900 tで、前年産に比べそれぞれ2,300 t（6%）、2,000 t（6%）増加した。

なお、収穫量は昭和54年産から44年連続全国1位となっており、全国の19%を占めている。

図2 かきの結果樹面積及び収穫量の推移（和歌山県）



2 奈良県

(1) 結果樹面積

結果樹面積は1,780haで、前年産並みとなった。

(2) 10 a 当たり収量

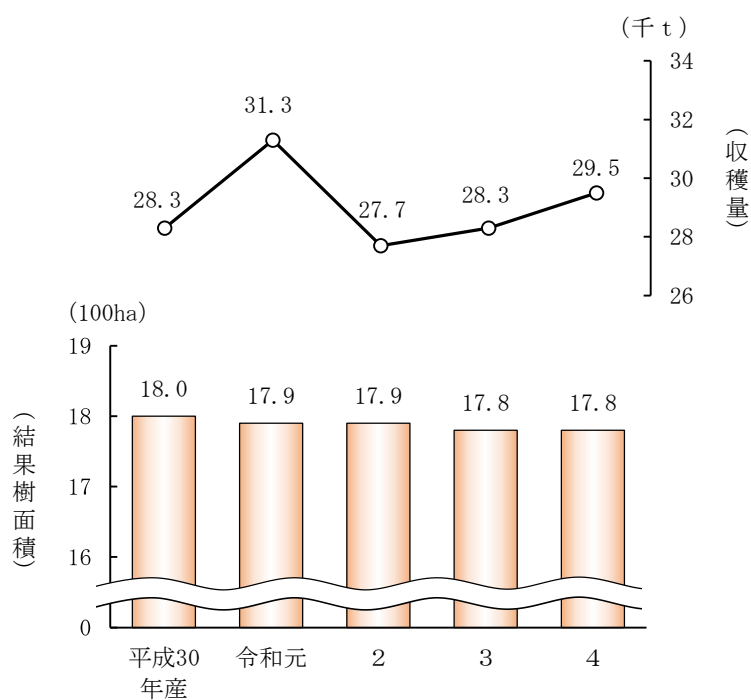
10 a 当たり収量は1,660kgで、前年産に比べ70kg（4%）上回った。

これは、果実の肥大は前年産に比べ抑制されたものの、結果数が多くなったこと等による。

(3) 収穫量・出荷量

収穫量は2万9,500t、出荷量は2万7,400tで、前年産に比べそれぞれ1,200t（4%）、1,100t（4%）増加した。

図3 かきの結果樹面積及び収穫量の推移（奈良県）



【統計表】

https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/xls/04_kazyu_kaki.xlsx

【調査の概要】

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/gaiyou/

【調査結果の主な利活用】

- ・ 食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成状況の検証のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく果樹共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は、近畿農政局ホームページの「令和5年度 農林水産統計公表予定及び公表結果」で御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2023.html#y0412> 】
- ・ 本資料の数値は概数値であり、確定した詳細な数値は農林水産省ホームページに掲載（令和5年12月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、近畿農政局ホームページでお知らせします。

【関連リンク】

果樹栽培面積のページ：農林水産省＞統計情報＞分野別分類／作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など＞作物統計＞面積調査＞果樹及び茶栽培面積

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/#y4>

果樹関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/>

果樹農業振興基本方針：農林水産省＞組織別から探す＞農産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ＞果樹施策の概要

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/attach/pdf/index-96.pdf>

【お問合せ先】

◎本統計調査結果について

近畿農政局統計部生産流通消費統計課

電話：（代表）075-451-9161 内線 2658
（直通）075-414-9650

◎農林水産統計全般について

近畿農政局統計部統計企画課

電話：（代表）075-451-9161 内線 2623
（直通）075-414-9620



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>